

札幌市長 秋元克広 様

2019年6月17日
日本共産党札幌市議会議員団
団長 村上 ひとし

幼児衰弱死の悲劇を再び繰り返さないための緊急 対応の申し入れ

札幌市中央区の池田詩梨（ことり）ちゃん（2歳）が、2から3週間食事を与えられず衰弱死する事件は、多くの市民に悲しみを与えています。「助けてあげられなくてゴメンね」という、救えなかった無念をつづった手紙も添えられ、手を合わせる親子連れなど、今もお花やお菓子、ぬいぐるみをたむける市民が後を絶ちません。

今回の場合、4月5日の虐待通告を受けて48時間以内に安否の確認をせず、5月15日に警察が安否を確認したことをもって虐待通告事案を終了とし、緊急度が下げられています。児童相談所は、その3日前の12日に道警から、母子との面会への同行を求められながら、多忙や夜間であることを理由に断っています。

秋元市長は、記者会見で「子どもの命をどう守るかという前提で、局面、局面で共通認識に立ちながら対応策を取る必要がある」とのべ、児童相談所と警察などとの連携不足に言及していますが、児童相談所の体制や専門性の向上で、緊急かつ抜本的な対応が求められると受け止めています。

今後の検証作業や原因究明、再発防止策をすすめることと合わせて、再び痛ましい事件を繰り返さないための速やかな安全確認、6月10日の第1回札幌市児童虐待防止緊急対策本部会議の具体化を図るうえで、以下の4点にわたる対策・予算化を緊急に申し入れるものです。

記

1. 検証と原因究明、再発防止策にあたっては、広く第3者機関を設けて行うこと。
さらに児童相談所の業務について第3者評価を導入すること
2. 第2児童相談所の設置は、「早期検討」にとどめず設置を決断すること
3. 児童福祉司の倍加をめざし当面、2019年度補正予算において3人増にとどまらない大幅増員の予算を計上すること
4. 「虐待対応課」「札幌市虐待対応専門チーム」（仮称）を創設すること

以上